

昨日 5 月 17 日に<関西に大地震の可能性>ということで 臨時メールを配信し、詳細をお知らせにも載せています。1 日たった本日 5 月 18 日の段階では、高知市介良、愛媛松前、神戸市灘区、伊勢 E 481、伊勢 D 484 の主要な大型データはリバウンドせずさらに減衰一収束が進んでいます。また周囲では山口から関西、愛知、静岡、長野までの非常な広範囲のデータに収束傾向が見られます。

<予想される震源について>

高知市介良の長期データの前回の収束は 2016 年 4 月で、当時は広島や当時あった北九州観測点も大きなデータを出していて、4 月 14 日と 16 日に M6.3 と M7.0 の熊本地震が発生しています。今回も同じ高知市介良の長期データの収束なので、再度熊本・大分周辺での大型地震の可能性も考えられますが 広島や九州各地に同期した大きなデータがありません。そのかわりに、愛媛松前、神戸市灘区、伊勢 E 481、伊勢 D 484 の大型データが同期して収束してきています。このような状況から今回の震源は東側一関西地区（紀伊水道、和歌山県沖、熊野灘、三重県沖など）の可能性が高いと考えます。

<予想される地震の規模>

高知市介良は、前回は 2014 年 11 月ごろから始まった長期データが 2016 年 4 月に収束して熊本地震が発生しています。しかし今回はそれよりずっと長く 2016 年 4 月から現在の 2021 年 5 月まで続いています。単純にデータの総量（総面積）だけでは地震の規模は決められません、やはり熊本地震 M7 を超える大きな地震の可能性もあります。また今回同期して収束してきている伊勢 E 481 などかなり大きな規模の地震が考えられます。したがって、地震の規模は少なくとも M6 の後半から M7 クラスの可能性があると考えます。

<予想される発震日>

以下のように各地のデータが一斉に収束の傾向にあります。これだけ広範囲のデータが同時に収束してきていることから 発震日は近いと思われます。

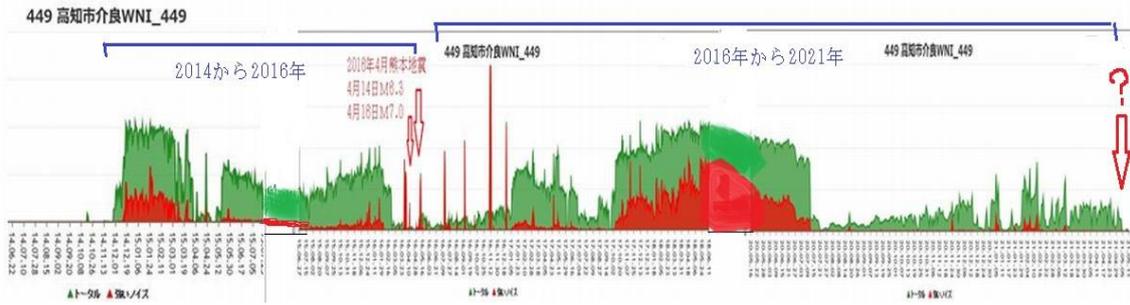
発生予想日は、再度本日 5 月 18 日から 3 日程度と考えます。

>>前述のように震源が東の場合、九州の大分、熊本の可能性も残りますが とくに関西地方の方々はここ数日、十分な注意をしてください。

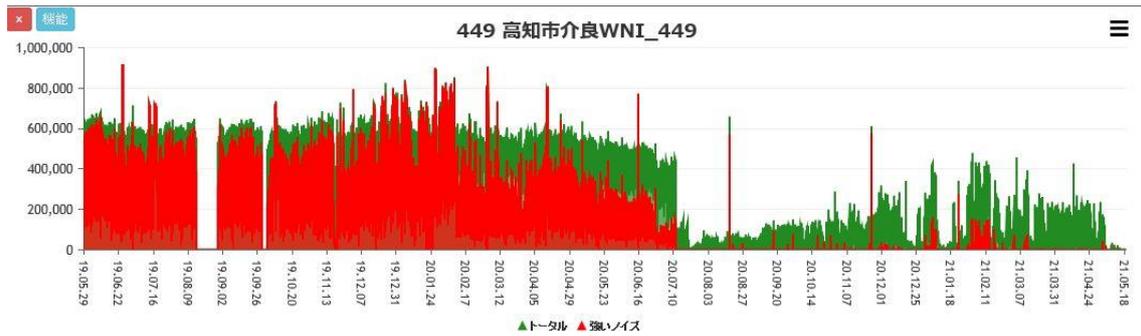
<南海トラフ地震の前兆か？>

今回の逆ラジオのデータが 南海トラフ地震の前兆と言えるかどうか、いままで経験がないのでわからない、としか言えませんが、データの大きさ、広範囲であることから可能性はあるので注意は必要と考えます。

参考<高知市介良 7年間データ>



高知市介良 720日(2年間)データ



伊勢E481 360日間データ

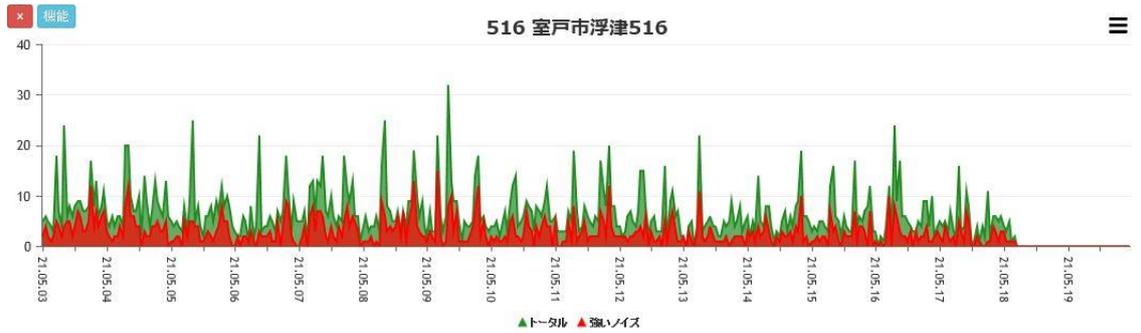


<各地 15日間データ>

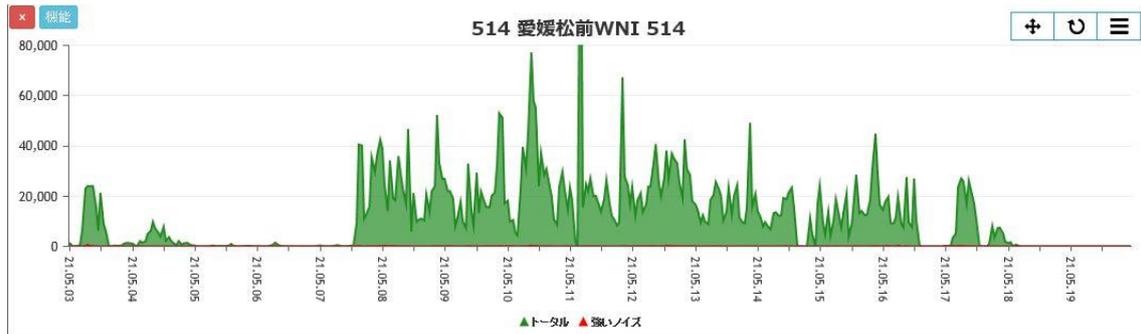
高知市介良 15日間データ>完全な収束が近い



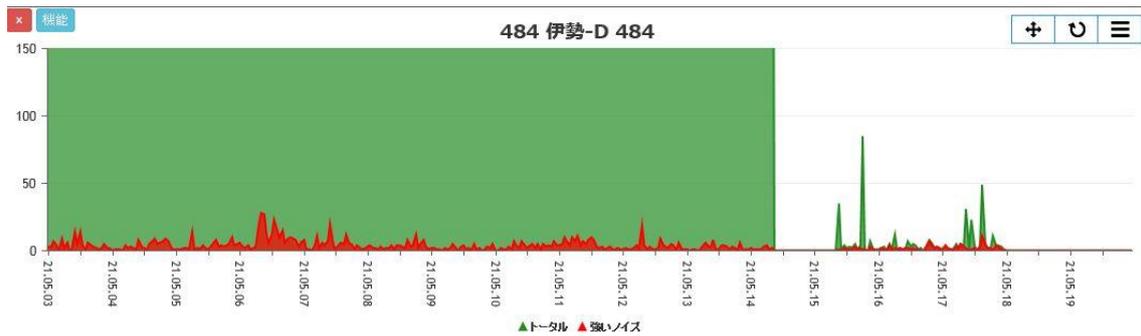
高知県室戸市浮津 15日間データ 5月16~18日に減衰している。



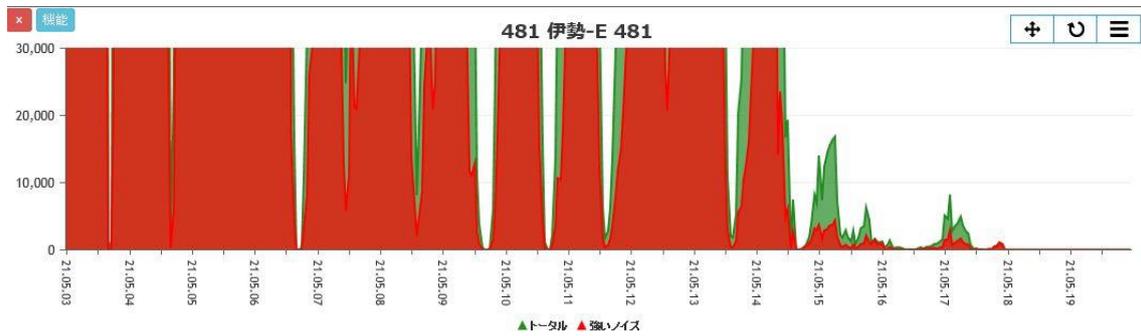
愛媛県松前 15日間データ >完全な収束に近い



伊勢D484 15日間データ>急な減衰がみられる。



伊勢E481 15日間データ>完全な収束に近い



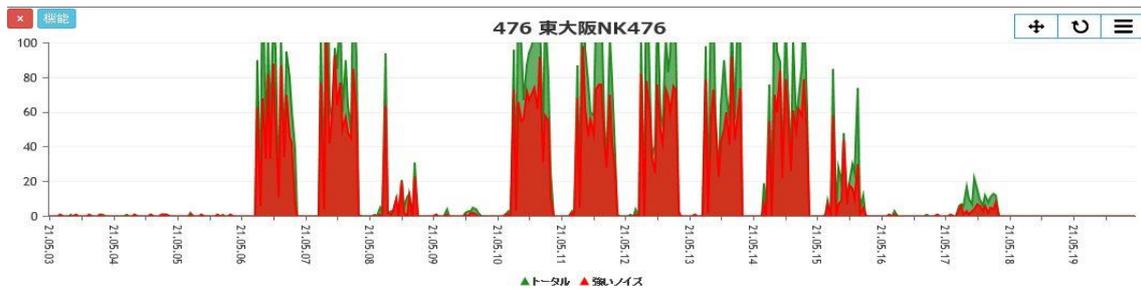
神戸市灘区 15日間データ>急な減衰がみられる。



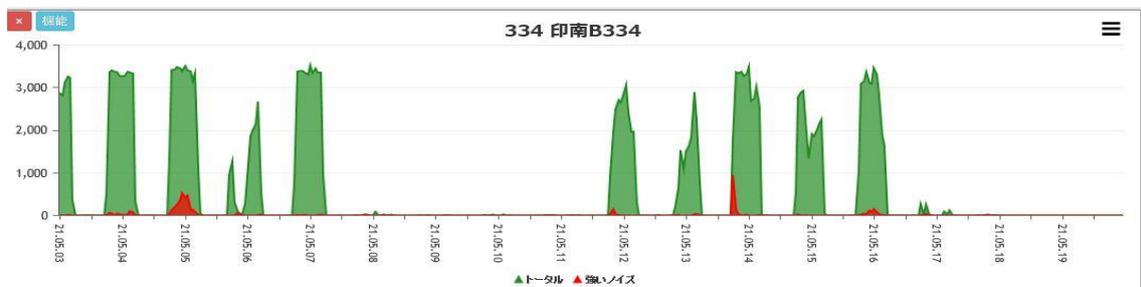
東大阪 15日間データ



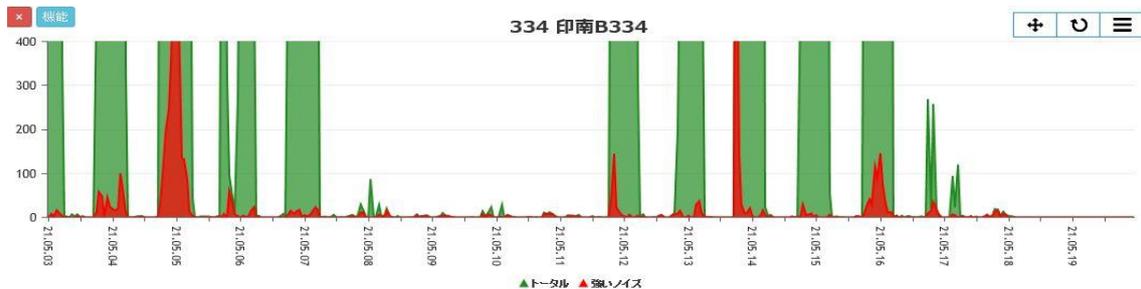
東大阪 (拡大) 15日間データ>急な減衰がみられる。



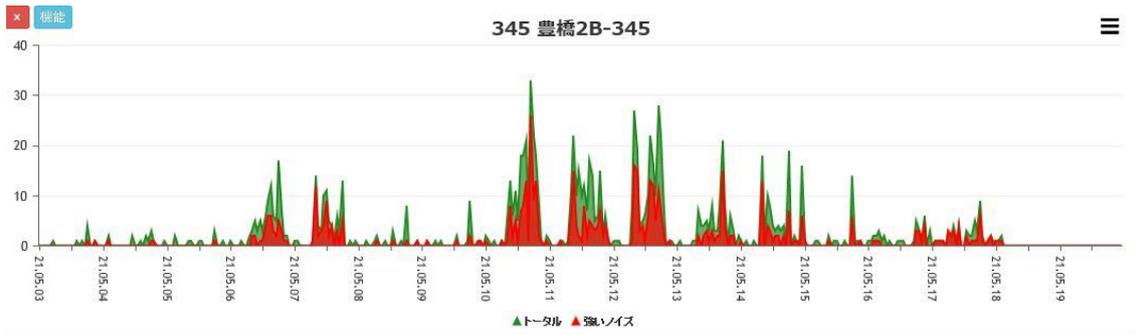
和歌山県印南 15日間データ



和歌山県印南 (拡大) 15日間データ>急な減衰がみられる。



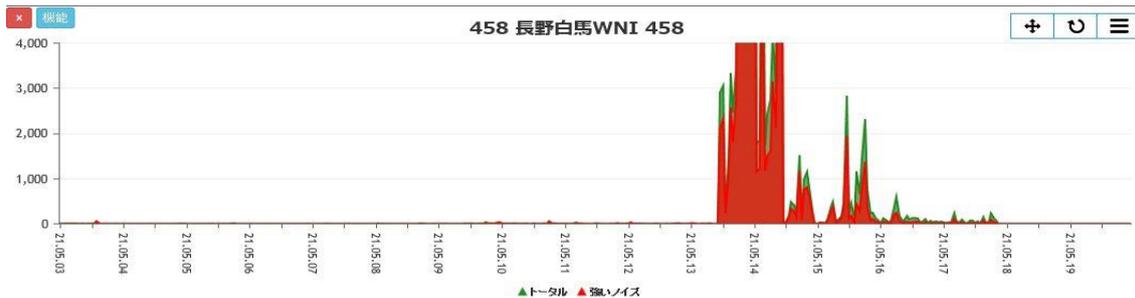
豊橋 345 15日間データ>きれいな収束傾向がみられる。



浜北 017 15日間データ>収束傾向がみられる。



長野県白馬 15日間データ>急な減衰がみられる。



福井 15日間データ>収束傾向がみられる。



広島中区 403 15日間データ>収束傾向がみられる。



山口 周南 15日間データ>急な減衰がみられる。



<異常データの出ている観測点の位置関係 5月18日>



参考 01<宏观現象について>

上記のように関西に大地震の可能性があり強力な電磁波が地下から大量に出てきていると考えると、地上の電氣的な機器に影響することが考えられます。またイルカなどの動物も電磁波を感じられるので異常な行動をします。こうした事例をいくつかひろってみました。

関西>>

京都と兵庫で連続した停電が発生

210404 京都市南区で一時停電 1600軒に影響、原因調査中

210517 京都市伏見区の1450軒で停電 原因は調査中

210428 神戸、明石で1万1千世帯が停電 送電線に何らかのトラブル

210517 兵庫・明石で1740世帯停電 いったん復旧も、再び一部で続く

210513 阪神本線尼崎駅構内で発生したポイントの不具合

210512 瀬戸内海でイルカの大群 愛媛県の伊予灘

愛知>>

210426 ニホンカモシカが工場地帯に 愛知県小牧市

静岡>>

210512 「Lアラート」に一時システム障害（静岡県）

210314 西伊豆町でイルカ3頭打ち上げられ サーファーらが救助（静岡県）

210411 4月11日に静岡県沼津市で深海魚サケガシラ

210422 静岡沼津の河口でイルカ9頭打ち上げ 地震と「因果関係ない」

210428 静岡市駿河区の川で魚が大量死 川の水から有害物質は検出されず

参考 02<210512 南海トラフ評価検討会“特段の変化なし”>

南海トラフで巨大地震が起きる可能性を評価する定例の検討会が開かれ、「特段の変化は観測されていない」とする見解をまとめた。4月から5月にかけて、想定震源域やその周辺では、「深部低周波地震」と呼ばれる小規模な地震が、四国中部や紀伊半島北部、それに東海で観測され、これに伴い、周辺の複数の「ひずみ計」で、わずかな地殻変動が観測されたが、想定震源域のプレートの境目が深いところでゆっくりとずれ動く「短期的ゆっくりすべり」が原因とみられる。また、四国の中部や東部、紀伊半島西部、それに九州では、おとしや去年以降、地殻変動が継続的に観測されているが、プレートの境目が年単位でゆっくりとずれ動く、「長期的ゆっくりすべり」が原因とみられ、いずれもこれまでたびたび観測されている現象で、検討会は「大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていない」とした。

この記事からは “「深部低周波地震」と呼ばれる小規模な地震が、四国中部や紀伊半島北部それに東海で観測されている、”ということが逆ラジオの観測データの範囲と一致します。今回の逆ラジオのデータが 南海トラフ地震の前兆と言えるかどうか、いままで経験がないのでわからない、としか言えませんが、データの大きさ、広範囲であることから注意は必要と考えます。